

議 事 録

1. 会議の名称 池田市史編纂委員会
2. 開催日時 平成26年12月4日(木)
午後3時30分～4時55分
3. 開催場所 池田市中央公民館 3階 会議室C
- 《委員》
小田 康徳 (◎ 近代専門部会部会長)
芝村 篤樹 (○ 現代専門部会部会長)
富田 好久
4. 出席者 〈事務局職員〉
※委員長：◎ 阪本教育部長
副委員長：○ 松森教育部次長
田上生涯学習推進課長
田中主幹
細谷副主幹
関根非常勤嘱託
船勢非常勤嘱託
4. 議 題 (1) 『池田市史』史料編⑩(近代史資料)の刊行について
(2) 平成26年度事業経過について
(3) 平成27年度事業計画・予算要求について
(4) その他
5. 議事経過 別紙のとおり
6. 開・非公開の別
※非公開の理由 公開
7. 傍聴者数 0名

開 会

教育部長 『新修池田市史』に続き、このたび、『池田市史』史料編⑩（近代史資料）ができた。ご尽力にお礼申し上げます。教育長からも、市史はつくったら終わりではなく活用が大事だという話があった。今後、皆様方の英知を拝借しながら、より充実した取り組みができるよう、ご協力をお願い申し上げます。

（１）『池田市史』史料編⑩（近代史資料）の刊行について

委員長 このたび刊行された『池田市史』史料編⑩（近代史資料）は、明治の初めから昭和 20 年頃を対象にして、近代の池田が変遷していく中で重要な意味をもつ出来事、池田の特徴でもあり全国にとっても重要というようなものを念頭に置いて構成した。結果、池田で生きてきた人々の息づかいが感じられる史料集になっている。今まで明らかになっていなかった史料も多数収めており、非常に貴重な史料集になるのではないかと。これからも史料はどんどんつくられていくので、記録は残していかないといけない。

（２）平成 26 年度事業経過について

事務局 今年度、編纂委員会は本日が第 1 回となる。近代専門部会は 2 回おこない、『池田市史』史料編⑩（近代史資料）の完成も確認してもらった。現代専門部会は 3 回開催し、史料編⑪（現代史資料）所収予定の史料選定や構成などを検討していただいた。

資料の調査状況だが、講の資料や、昭和初期の写真資料などを調査した。また、朝日新聞記事の切り抜きや、廃棄行政文書の選別収集もおこなっている。

編集・刊行については史料編⑩（近代史資料）を刊行、引き続き史料編⑪（現代史資料）の編集を進めている。

広報活動は、広報誌への連載、市と教育委員会の HP で PR をおこなっている。

委員 池田の地方新聞は保存しているか。

事務局 すべて揃ってはないが、収集に努めている。

副委員長 史料編⑪（現代史資料）は掲載史料点数が大変多い。市議会会議録・地方紙・聞き取り史料が柱だ。収集調査に力が及ばず、民間文書・家文書などは少ない。

委員長 保存年限が切れた行政文書の調査収集はどのようにしているのか。

事務局 年に一度、すべてではないが、とくに重要なものの中から 1 点ずつ目を通してチェックして選別し、収集している。

委員長 これは市史の事業というよりも、行政文書を歴史資料としていかに残すかという重要な問題だと思う。蓄積されたノウハウについて、注意点や、これからの課題などを少しずつ検討することが必要だと思う。公文書館管理法は国については義務化している。地方自治体については義務ではないがそれに準じてやるように書いている。それも踏まえ、これからの一つのテーマになるだろう。市史編纂は過去の歴史を解明するだけではなく、今までやってきた記録

を保存し残すことも重要な任務であり、その研究をする必要がある。

副委員長 文書処理規程の中に、歴史的文書保存の規定を入れることが大切だ。文書館のない市町村でも、文書処理規程で対応しているところは多い。

(3) 平成27年度市史編さんに伴う事業計画・予算要求について

事務局 調査計画は従来通り、編集・刊行計画は史料編⑪（現代史資料）の編集・刊行を目指している。27年度予算は、史料編⑩（近代史資料）に伴うものが不要となり、史料編⑪（現代史資料）に伴う著作権料や監修報酬などを新たに要求している。

副委員長 著作権料を抑えるため、可能ならばなるべく安い史料を選んでいる。

(4) その他

事務局 近代専門部会の専門委員は、池田市史編纂委員会専門部会設置要綱にもとづき、市史編纂委員会への最終的な報告をもって、少し遡って11月末で任務を終わり、解任となった。

委員長 近代専門部会は業務完了で解散となった。本づくりはこれで終わりだが、市史の中身を市民へ啓発していく際には、専門委員へ改めて協力を求めることもあることをお願いし、快諾していただいた。

閉 会